

根子岳・冠ヶ岳・俵山～阿蘇栄養ハイク～

【報 告 者】長尾恵（根子岳）

【日 時】2007年12月15日、16日 【天 候】晴れ

【参 加 者】藤末・岩谷・石上・長尾恵・立石（2日目）

ルート名

12月15日 根子岳(大戸ノ口登山口より)

12月16日 地蔵峠登山口 冠ヶ岳 俵山 俵山登山口

報 告

今回参加のメンバーは根子岳登山は全員初体験。栄養ハイクの栄養を付けるというのが本来の目的のためなのか、初体験メンバーなので無理しないルートを選択してくれたのか、大戸ノ口からの最短ルート（傾斜はきついらしい）に臨む。

15日夜から参加の立石香代さんを除く、4名で大戸ノ口の登山道を車で目指す。ナビ石上さんはどこが一般道から登山口駐車場までの道路の入口だろうと、地図と格闘。一度はスルーするも、横道発見!!牧場用の管理道路（なるほど地図の動物注意とはこのことなのですね）を車で登りかなり標高かせぐ。

登山口駐車場到着。ここでも冬山ボッカ組の藤末さんと岩谷さんはボッカの準備を・・・『さすが!!ボッカなれしてきたなー』と感心と尊敬の私は冬靴慣らしだけ、情けない。。。ドロワットのパンツにぬくぬくの上着を着込んで意気込む藤末さん。『そんなに着込んで大丈夫か?』と心配そうに見つめる石上さん・・・だったが、準備で火照ってしまったのか、これから登る根子岳に対しての意気込みがそうさせたのか、やはり藤末さん半袖になっちゃいました。

11:00登山開始。今朝の冷え込みでいたるところに霜柱が残っているが、融けだした霜で足元はかなり悪く、登山道はズルズルで滑ってなかなか登れず、メンバーはみな苦戦。最短ルートで簡単だろうと考えていた私は（メンバー全員そう思ってたのでは・・・）傾斜のきつさに、甘くみていた自分を反省。

登りの半分に来たころには半袖・短パンとアラワナ姿になってしまった藤末さん、『自分で脱いだんじゃない、根子に脱がされたんだ』と、のちに語る。後続に続く石上さんは目のやり場に困り、ますます登りづらくなったのでは。。。

11:55根子岳登頂。天気はよかったものの、さすがに12月の気温。動きを止めるとやはり寒い。根子岳から天狗岩を眺め 『今度は天狗に挑戦したい』 と、みんなが

そう思ったのではないのでしょうか。

12:15下山開始。登りのズルズルは、もちろん下りもズルズル。足元をすくわれ、しりもちをつく人続出。普通でも歩きづらいののに、ポッカトレの岩谷さんと藤末さんは重いザックと冬靴で七転八倒アクロバティックな体を張っての下山となりました。

12:53登山口到着。時間的にはとても短かったのですが、体温調節・足元の不安定な登山道の歩き方・上手な転倒の仕方など学ぶものは多かったのではないかと思います。なかなか内容の濃い山行となりました。

（2日目：立石香）

天気は快晴。本日は、冠ヶ岳から俵山に縦走をし、俵山登山口へ下山。昨日のうちに俵山登山口にデポしておいた車で、地蔵峠まで帰る予定でした。地蔵峠登山口まで車で行き、11時10分に登山口を出発しました。まずは、冠ヶ岳を目指す。最初の1時間は遊歩道のようなほぼ平らな歩きやすい道が続きました。ぽかぽか暖かく「まるで散歩みたいですね」なんて話ながら、楽しく歩きました。このお散歩コースがずっと続くのでは・・・と思ったが、それは違ったようです。

最初の目標である冠ヶ岳山頂には、12時25分に到着しました。他の登山者の方もいらっしや、「どこから来たのか？」と話かけられました。その方は、「九州自然歩道」というホームページを開設しているらしく、それに写真をのせたいとのオファーがありました。山頂で写真をとってもらおう。後で、ホームページを見たら、私達の写真が掲載されていた。表題は「福岡のヤングマン&ヤングウマン」笑。ちょっと恥ずかしい。山頂で、少しゆっくりし、次の目標の俵山山頂を目指す。他の登山者の方に「起伏が激しくてきついよ」と言われたが、今までの平らな道ばかりだったので「まあ大丈夫だろう」とたかをくくっていました。しかし、その言葉は本当でした。

小さな山を3つくらいは越えました。越えるたびに、「あれが俵山かな？」と思って登るので、なおさらきつく感じます。しかしながら、登山道から見える景色は最高でした。阿蘇の外輪山がきらきら輝いて見えます。俵山山頂には14時20分に到着しました。起伏があったので歩行時間以上にきつく感じたが、景色が綺麗で面白いコースでした。山頂は、とても寒くコーヒーを飲みほっとしました。

少し休憩をとり、俵山登山口の方に下山した。昨日の雨のせいで地面がぬかるんでおり、斜面も急でつるつるすべりました。俵山登山口駐車場には、16時10分に到着しました。その後、車で地蔵峠の駐車場まで、他の車をとりに行きその場で解散。前の日には、豆乳鍋をたらふく食べ、阿蘇の美しい山々の景色を見ながら歩き・・・阿蘇栄養登山は、体も心も健康になる楽しい山行でした。